

川、ため池に大量繁殖で対策

アカミミガメ 引き取ります

北米原産の外来種・ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)の大量繁殖を抑えるため、市は16日から、「捨てたらアカン!ミドリガメ キャンペーン」を実施する。31日までの期間中、日時を指定して市内各地に回収用の「カメポスト」を設け、家庭で飼えなくなったアカミミガメを、事情を聴いた上で引き取る。飼い方などに関する電話相談にも応じる。

(新聞真理)

カメ対策ではこのほか、日本ウミガメ協議会会長で明石市の防除調査にも協力している亀崎直樹・神戸市立須磨海浜水族園長に「ミドリガメ対策アドバイザー」を委嘱し、抑制策などについて助言を受ける。15日付で期間は2年。

アカミミガメは繁殖力が強い。ため、在来種のニホンシガメの生息環境を圧迫するなど影響が生じている。

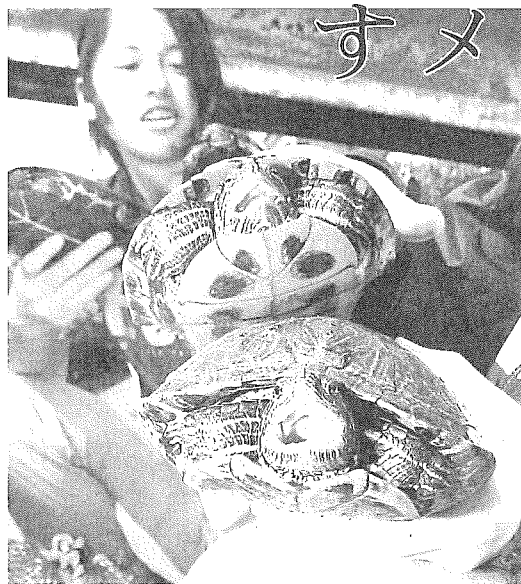
市が今年5〜8月、谷八木川と、隣接するため池5カ所で行った調査では1845匹のアカミミガメが捕獲され、在来種を含む全体の6割を占めた。市内の川やため池に、計1万匹以上が生息していると推計される。

「カメポスト」はキャンペーン中、市内13カ所を巡回。

アドバイザーに須磨水族園長

引き取ったカメは、須磨水族園内の淡水カメ保護研究施設「亀楽園」に収容する。市は「川や池は危険なので、捕獲には行かないように」と呼び掛けている。

電話相談は、環境部環境総務課に「カメダイヤル」を開設する。飼い方などの相談に応じるほか、ポストへの持参が難しい市民を対象に、職員が自宅へ引き取りに出向く日時を調整する。☎078・918・5029(期間中の平日)



市が引き取りを始めるミシシippアカミミガメ
大久保町谷八木(5月16日撮影)

日午前8時半〜午後5時)。
引き取りの日程と場所は次の通り。時間はいずれも午前9時半〜11時。
16日IIあかねが丘学園▽17日II大久保市民センター▽18日II天文科学館▽21日II花と緑の学習園▽22日II山手台会館、東二見駅北集会所▽23日II魚住市民センター▽24日II上丸会館▽25日II太寺会館▽28日II大蔵会館▽29日IIサンライフ明石▽30日II見市民センター▽31日II市役所

16日から「ポスト」市内13カ所巡回